

# FMEA・DRBFMの基礎と 効率的・効果的な活用法の具体的ポイント

会場 / WEB 受講

WEB受講の場合  
アーカイブ配信付き  
(7日間視聴可能)

★日時：2026年4月24日（金）10:00～16:00

★受講料：1名 49,500円（消費税込）

★会場：TH企画セミナールーム

同一セミナー同一企業同時複数人数申込みの場合 1名44,000円

- ・JR田町駅：徒歩10分（三田口）
- ・都営大江戸線：赤羽橋駅 徒歩3分（赤羽橋口）
- ・都営浅草線・三田線：三田駅 徒歩8分（A3出口）
- ・都営三田線：芝公園駅 徒歩7分（A2出口）

★受講資料：製本テキスト（受講料に含む）

※別途テキストの送付先1件につき、配送料1,210円（内税）

**FMEA・DRBFMの本来の姿・使い方、デザインレビューでのFMEAの効果的な使い方、効率の良い未然防止活動、インタビュー形式によるFMEAの効率よいスタート法、FTAとの関係によるFMEAの効果アップ方法、顧客・協力会社へのFMEA・DRBFMの対応について、豊富な経験に基づき分かりやすく解説する特別セミナー！！**

【講師の言葉】FMEA・DRBFMが役にたっていますか、実施効果を実感できていますか？そうでないのは形だけになっているからではないでしょうか？何故、何のためにFMEAをやっているのでしょうか？

本来は未然防止のためですが、未然防止＝FMEAではありません。DRを必須としている企業も多いですが、資料として添付してあるだけ、そもそもDRに参加している管理職がFMEAの見方もわかっていない、添付していないとDRが通らないから、というものも散見されます。

FMEAやDRBFMシートの欄を埋めるだけで未然防止ができるのなら楽なこと。また、DRの場だけでは、それはできません。本気で取り組み、効果を出すためには、未然防止との関係をはじめとして、基本的なこと、あるべき姿、実施時期・体制はどうあるべきか、それを理解することです。

FMEAとは、トヨタ流のDRBFMとの関係、未然防止活動における位置づけ、効率的な実施時期、DRでの有効活用法、そのためのDRの有るべき姿等、基本的なことから解説します。

【受講形式】会場/WEB選択可 ※WEB受講の場合のみ、アーカイブ配信（7日間視聴可能）。

【予備知識】・特に必要ありません。わかりやすく解説します。

【受講対象】・FMEAやDRBFMをやっているけども、やり方への疑問や、効果が上がらないと思う方  
・不良や事故・故障の未然防止をしっかりとやりたい方  
・FMEAをやりたい方、本気で取り組みたい、取り組むべきと考えている方  
・未然防止活動において効率的で有効なやり方を学びたい方  
・DRにおいてFMEAやDRBFMが有効活用されていないと感じている方  
・顧客要求にてFMEAを作成している方、協力会社（協力会社）へFMEAを要求している方  
・製品企画、設計開発、試作・製造、生産技術、設備、品質保証に関係する技術者、管理者 など

【習得知識】1) FMEA、DRBFMの本来の姿、使い方  
2) デザインレビューでのFMEAの効果的な使い方  
3) 効率の良い未然防止活動のやり方  
4) インタビュー形式によるFMEAの効率よいスタート法  
5) FTAとの関係によるFMEAの効果アップ方法  
6) 顧客や協力会社へのFMEA・DRBFMの対応 など

【講師】 CS-HK 代表 上條 仁 先生 元(株)日立製作所、東京農工大大学院 非常勤講師

## 1. 役に立たないFMEA、意味の無いDRとは

- (1) FMEAの実態：役に立っていない事例
- (2) DRがうまくいかない、パワハラDR？

## 2. 未然防止活動の基本

- (1) 未然防止と品質保証
- (2) 未然防止の3区分の必要性、FMEA・DRBFMの位置づけ
- (3) DRBFMとは：FMEAとの関係
- (4) 実施前後の活動が重要
- (5) 未然防止活動の効率的な実施時期とは
- (6) 狭く深く、重点化実施すること

## 3. FMEA・DRBFMの作成、効率良いFMEA作成

- (1) 設計FMEAと工程FMEAの区分けとは
- (2) FMEA及びDRBFMの作成手順
- (3) インタビューFMEAによる効率アップ
- (4) FMEAの使い分け：顧客要求対応・取引先への依頼

## 4. DRにおける有効活用

- (1) そのままのDRとは
- (2) DRが誤解されている
- (3) DRの分類、DRBFMとの明確化の必要性
- (4) DRの効率化により未然防止を有効活用すること

## 5. FMEA・DRBFM見方、考え方の演習

- (1) IATF16949・FMEA書式
- (2) DRBFM書式

まとめ、質疑・応答

【受講者の声】・FMEAについては概要を知っているだけだったので、この手法を導入する目的・成果からまずはしっかり把握し、事前の社内システムや対応・フィードバックが非常に重要だと理解できたのが非常に参考となった。

- ・設計段階からのFMEAをしっかり作って行く事が大事だと思いました。現状、後引き型になっているので前に持っていきけるように設計とも相談して進めて行きたいです。
- ・上條先生の経験談や、ご本人曰く少し逸れたお話も、個人的にはとても面白く感じました。淡々と進む講義よりも、今回のような講義の方が楽しみをもって聴講できます。

### ◆セミナーお申込要領

- ・弊社ホームページの申込欄又は、E-mailかFAXにてお申し込みください。
- ・受付後、受講票・請求書等をメールで送信します。
- ・開催日の8日前以内のキャンセルの場合、受講料の全額を申し受けます。

◆申込書：2026年4月24日セミナー 受講形式：会場/WEB ※〇で囲んでください

会社名： 部署名：

住所：

TEL：

FAX：

氏名：

Email：

### ◆申込先



TH企画セミナーセンター



株式会社TH企画

〒108-0014 東京都港区芝4丁目5-11 芝プラザビル5F

TEL: 03-6435-1138

FAX: 03-6435-3685

Email: [th@thplan.com](mailto:th@thplan.com)URL: <https://www.thplan.com/>

詳細、その他のセミナーは、ホームページをご覧ください。

検索

TH企画

サイト内  
キーワード検索0424  
(開催日)